

# オレンジカフェ えんむすび

開催日 毎週月曜日・土曜日 10～15時  
 場所 江東区北砂5・17・36  
 電話 03・5857・6200

## 江東区で最初の認知症カフェ

地元で長年デイサービスを営んできた(有)すこやかでは、自社ビルを建設する際、恩返しとして1階は地元の人に開放したいと考えていたそうです。そんな折、国のオレンジプランがスタート。「これだ！」と考え、ビルの完成を待つ平成26年6月に江東区で初めての認知症カフェをオープン。当初は常設のカフェとして話題になり、全国から見学に来たそうです。

## 目印はお地藏様

砂町銀座入口近くの丸八通り沿いに位置する「えんむすび」ではオレンジ地蔵がお出迎え。カフェの奥には本格的な足湯設備もあり、これから寒くなる季節にはうれしい限りです。所長の平井さんをはじめとする心やさしいスタッフが気持ちよく出迎えてくれます。



オレンジ地蔵



土曜日は専門職による相談日



スタッフの平井さんと島村さん

## 月曜は歌、土曜は相談日

カフェの内容を充実させるため今年の5月からは

月曜、土曜と週2回の開催になりました。

月曜はボランティアさんによる歌声喫茶。

土曜は高齢者医療センターの看護師や

長寿サポートセンターの

介護相談スタッフがいるほか

「絵手紙教室」や「お菓子作り教室」なども行っています。

その日何をやるのかは

電話で聞いてみてください。

## 「えんむすび」は地域の拠り所

「より多くの人に来てほしい」と考え

最近では町会事務所にも

チラシを置いてもらうなど

広報活動も積極的に行っているそうです。

めざすのは「きめ細やかな対応」と平井さん。

認知症の方やご家族の方、

そのひとりひとりに

寄り添った対応を常に心掛け、

地域のためにさらに頼りになるカフェ作りに励んでいます。

## 認知症カフェ

開催日 不定期  
 場所 江東区文化センター 東陽4・11・3  
 電話 03・3640・2112 (サンライズホーム)

## 参加者は100名超え！

8月12日、江東区文化センター展示室で開催された「認知症カフェ」の参加者は実に119名。区内22事業所からなる

グループホーム・小規模多機能連絡会が主催とはいえその動員数は区内最大。前回(昨年)よりも

50名以上増えたそうです。

## 赤ちゃん登場で「笑顔の花」!

第1部がシンポジウムで第2部が楽しいイベント。シンポジウムのテーマは

「地域密着型サービスってなんですか?」

区の担当者からの基調講演に続いて、

グループホームと小規模多機能事業所の取り組みを紹介。第2部は雰囲気が一転。

「ばぶうケアを体験してみませんか?」

と銘打ったイベントには7名の赤ちゃんが登場。

赤ちゃんと触れ合うことで高齢者の前向き度がアップ。

多くの参加者が笑顔満開で、

「来てよかった」という声がたくさん聞かれました。



7名の赤ちゃんが登場



シンポジウム風景



参加者は大喜び

## 一般の参加者を増やしたい!

「認知症には刺激が必要。」

認知症の人でも少しのサポートがあれば通常の生活ができる」

と語る主催者の佐藤さん。

そのためには一般の人との接点が必要なので

カフェを運営しているのですが、

今のところ年1回の開催が精いっぱいだそうです。

## 連絡会メンバー紹介(順不同)

(グループホーム)

●サンライズ●こすもす●さざんか荘●たんぼほ

●気手来手くんの家●東桜の里●深川北●もし・もし

●カメリア●東京江東の家●天神あやめ●あいり

●クレール東京うみべ●きらら木場公園●新砂●ありがとう

●きらら南砂町●フィオーレ木場公園●きらら東大島

(小規模多機能型居宅介護)

●天神あやめ●あいり●クレール東京うみべ●多機能ホーム新砂